

平成25年度「みんなの審査会」～市民参加型事業評価～審査結果概要

事業番号	3-①	事業名	授産製品開発支援事業			
所管	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援	課

【事業内容】

技術の向上を目指す施設に対し、指導員を派遣し、授産活動に係る経営指導及び経営ノウハウの定着支援を実施する。また、授産製品を製作するための技術の向上及び販売促進につながる支援を実施する。

総コスト(千円)	(平成24年度決算額)	10,390千円	(平成25年度予算額)	11,205千円
----------	-------------	----------	-------------	----------

【市民審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【今後の方向性】

＜市民審査員＞						＜検討委員(参考意見)＞							
今後の方向性	事業の方向性	拡充	/	1	2	4	今後の方向性	事業の方向性	拡充	/		2	2
		現状維持	/		4								
		縮小	/										
		廃止	/										
			ゼロ	縮小	現状維持	拡大				ゼロ	縮小	現状維持	拡大
公金投入の方向性						公金投入の方向性							

【今後の方向性】《事業の方向性—公金投入の方向性》を選択した理由

《拡充—縮小》

・授産商品の開発部門では、今までの商品は必ずいるものではないので需要が少ないのではないかと思います。可能であれば、水耕栽培など野菜の販売があれば、需要が増えるのではないかと思います。技術指導に公金を回すのではなく、他に使用してはと思う。よって、公金の他の使用目的に使い、開発は、他の商品へも目を向けていくべき。

《拡充—現状維持》

- ・授産活動支援強化のためには、現状のNPOから指導を受けるだけでなく、戦略性のある商品開発(企業の協力を得る)、販売のネットワーク化、堺らしさを打ち出す販売と併せて新しい就労の場を考える。授産施設だけにとどまらず、障害者と健常者の共に働く物作りにも努める。
- ・事業としては、障害者の自立と社会参加を促進する為には、有益であり事業自体は拡充して行っていただきたいと考えます。ただし、現行の業務委託形式であれば縮小でも良いのではないかと考えましたが、同じ公金投入でも更に創意工夫を求める形で現状維持と評論づけました。
- ・事業の内容は改善する必要があると感じる。
- ・市民理解を高める活動をお願いしたいと思います。

《拡充—拡大》

- ・やはりできるだけ、自立の方向に持っていけるように。大変でしょうが頑張りたいと思います。
- ・単に技術力をアップする事だけではなく、マーケティング、販売促進などにも力を入れていく必要がある。(もちろん、最低限の技術指導は必要である。)
- ・各地区のフリーマーケットでの販売を広げていったら障害者に喜びを与えられると思います。
- ・普通の製品と同等の品物を作ってほしい。
- ・スキルアップは非常に難しいとは思いますが、確実とやらなくてはいけないと、賃金アップは不可能だと思う。
- ・製品単価の増加。外部販売機会の拡大。技術支援の効果性(良い製品を作る)

《現状維持—現状維持》

- ・事業について、社会的に意義のある事業ではあるが、代替案が明確になっていない為現状維持。公金投入について、左記と同様の理由。
- ・もっと柔軟に考え方を考えてみる。お金の使い方を再検討して欲しい。
- ・まだまだ現状で出来ることがあると思います。

【今後の方向性】			
<p>《廃止—ゼロ》</p> <p>・これまでの事業を縮小、廃止し新しい事業として再構成された方が良いと思います。現状は目的を達成する為の事業内容とは言えないと思います。そもそも目標値の設定が不適切であり、評価項目が妥当とは言えません。これを維持するより新しい事業展開をする方が良いと思います。</p>			
【改善策について】(複数回答あり)		市民審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	4	4
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	2	3
	関連事業とのあり方について見直しが必要(統合や再編を含めたあり方等)	4	1
	サービス受給者の負担(受益者負担)について見直しが必要	1	0
	市以外からの財源の確保について見直しが必要	4	2
	担い手のあり方について見直しが必要	2	1
	その他	1	0
<p>【具体的な改善策提案】《事業の方向性—公金投入の方向性》</p> <p>《拡充—現状維持》</p> <p>・NPOへの委託がマンネリ化していると思われる。他のNPO法人でも障害者支援を行っている所は多々あるので、新しい視点を取り入れることが必要な時期に来ていると思う。指導に来てもらう形式から施設のスタッフが成果を上げている団体に研修に行ってノウハウ、働き方等を学ぶ方が効果的ではないかと思う。</p> <p>・民間や他市での参考事例を学んでいく事。NPOに任せきりにせず市としても指導していく等が必要ではないか。</p> <p>・塚らしい新商品をまず開発する事が良いのでは。各事業所への個別派遣は無駄が多い。</p> <p>・方法論がいろいろ出ましたが、参考に取組んで頂きたいと思います。</p> <p>《拡充—拡大》</p> <p>・マーケティング、経営支援の強化。製造力の強化は言うまでもないが、販売力の強化も重要である。</p> <p>・いろいろ教えてくれるボランティアが地区地区に居ますのでその人達を募ったら工賃、委託料他があまりかからないようになると思います。私の周りでボランティアで施設とかで無料で教えてくれる人を見かけていますので。</p> <p>・堺市だけでは財源は不可能だと思うので、他でも財源の確保は必要である。</p> <p>・協力者の参加(ボランティア)</p> <p>《現状維持—現状維持》</p> <p>・授産施設の数、及び、授産施設で就労可能な障害者の割合を増やすことが主要なのではないかと考える。</p> <p>・障害が重度であれば当然工賃は低くなると思われ、その工賃を競う事は意味がうすいと判断するもの。</p> <p>・販売商品の向上を図られますように障害者だからと言って粗雑な物を販売しないように。</p> <p>・最近ボランティアに対する志向が高まっているので、その力を利用してはどうかと思う。高齢者が増え、その能力を発揮できずにいるのではないかと思うので、その技術や発想を出してもらう。</p> <p>・レポートリーを増やしたり、コストを低くしていいものを作る努力。</p> <p>《廃止—ゼロ》</p> <p>・堺市マスタープランにおける「障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現」に対して、適切かつわかりやすい目標を設定してください。その目標を達成する為に具体的な実施計画を立てて、ち密確実に実現していけば、必ず障害者等が自立して生活できる環境が整えられると考えます。</p>			
【自由記入欄】			
<p>・授産製品のスキームや目的のもう少し事前研修会で説明が必要であったのではないかと感じました。(スキーム、説明に時間を取られた感がありましたので)</p> <p>・目標は工賃UPが分かり易くて良いのではないですか。その為の方策は、様々な事が考えられます。グランドデザインを立て、市民の協力を得て着実に実現していく方法を考えると良いと思います。</p> <p>製品開発(何をどのように開発するか。製造方法)→販売方法(アンテナショップ、企業コーナー、ネット販売等)。企業、経営的な視点が必要。</p>			